

社会資本総合整備計画 中間評価書																
計画の名称	自然・歴史的景観保全・活用の推進（第2期）															
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	京都市															
計画の目標	歴史的風土特別保存地区や特別緑地保全地区内において、必要な土地の買入れ及び「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」や「京都市三山森林防災ガイドライン（仮称）」に基づく森林再生や森林の維持管理に必要となる管理道整備など適切な施設整備を行い、歴史都市・京都における良好な自然景観の保全と再生を図る。															
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,860	A	1,830	B	0	C	30	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		1.61	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29末	R2末	R4末
1	現状変更行為の不許可処分に伴う買入れ申出のあった歴史的風土特別保存地区や特別緑地保全地区内の土地の買入れを進めていく。			
	歴史的風土特別保存地区、特別緑地保全地区内で本整備計画において買入れを行う面積のうち、買入れを行った面積の割合の増加 買入れを行った面積／本整備計画において買入れを行う面積(3ha)	0%	50%	100%
2	「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」や「京都市三山森林防災ガイドライン（仮称）」に基づいた美しい自然景観の保全と再生を図っていく。			
	施設整備（森林再生）が必要な面積のうち、整備した面積の割合の増加 施設整備（森林再生）済みの面積／施設整備（森林再生）が必要な面積(42ha)	24%	33%	60%
3	「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」や「京都市三山森林防災ガイドライン（仮称）」に基づいた美しい自然景観の保全と再生を図っていく。			
	施設整備（管理道整備）が必要な延長のうち、整備した延長の割合の増加 施設整備（管理道整備）済みの延長／施設整備（管理道整備）が必要な延長(3.5km)	0%	29%	57%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
古都保存・緑地保全等事業に基づき実施される要素事業全て												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	古都保存事業	土地買入A=2.1ha，施設整備(森林再生,管理道整備等)	京都市	■	■	■	■	■	1,530	-	-
	A12-002	公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	緑地保全等事業	土地買入A=0.7ha	京都市	■	■	■	■	■	300	-	-
											小計						1,830		
											合計						1,830		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	京都市三山森林防災ガイドライン（仮称）の策定	古都三山の景観形成や生態系保全等の公益的価値を保持しつつ，防災的機能を有した森林へ誘導するためのガイドラインを策定する。	京都市		■	■			30	-	-	
		「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」や「京都市三山森林防災ガイドライン（仮称）」に基づいた森林景観づくりを推進し，良好な自然景観の保全と再生を促進することができる。																		
												小計						30		
											合計						30			

中 間 評 価

○ 中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

京都市において評価を実施

中間評価の実施時期

令和3年10月

公表の方法

京都市ホームページにおいて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

計画に沿った歴史的風土特別保存地区及び特別緑地保全地区の公有化，管理道整備工事等の施設整備を実施し，自然・歴史的景観保全が適切に行われた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

京都市三山森林景観保全・再生ガイドラインを補完する「災害に強い森づくりの考え方」を策定した。

○ 特記事項（今後の方針等）

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	公有化用地達成率		
	中 間 目標値	50%	
	中 間 実績値	50%	
2	施設整備（森林再生）達成率		
	中 間 目標値	33%	
	中 間 実績値	33%	
3	施設整備（管理道整備）達成率		
	中 間 目標値	29%	整備予定箇所の状況を踏まえて、重点的に事業を実施したため。
	中 間 実績値	57%	